

リ | ハ | ビ | リ | 日 | 記 |



こころのリハビリテーション課
よしの こういちろう
作業療法士 吉野 公一朗

私の所属するこころのリハビリテーション課は、精神科からの処方によりリハビリテーションを提供しています。「精神科」と聞く皆さんはどのようなイメージを持つでしょうか？「ずっと入院するのではないか？」「仕事や結婚ができないのではないか？」「なんだか怖い感じがする」「そんなイメージを持っていませんか？

精神疾患は脳の病気と言われてます。主にストレスによって神経伝達物質の分泌が正常に行われず、実際にはあるはずもない事に確信を持ったり、人の声が聞こえたりします。また、高齢者に多い「認知症」の方も精神科で診療されています。

こころの医療センターでは3ヶ月を目安に退院される方が多く、

入院中は精神症状の改善と地域生活に戻るための練習をしています。私たち作業療法士は、皆さんの思いや考え、希望、困り事をお聞きして一緒に地域生活に戻る練習をしていきます。

退院した後の生活に不安がある方も多いと思いますが、地域には困った時の相談窓口や社会復帰に向けてリハビリを続けられる事業所があります。地域のサービスを

理想の生活を送るための

お手伝いをさせて

いただきたい



利用するために医師、看護師、精神保健福祉士の方々と一緒に作業療法士も地域と連携を図り、病院と地域の架け橋になれるよう関わっています。

皆さんが感じている「生活のしづらさ」を克服するために、どのように工夫をしていくと良いか一緒に考えることが作業療法士の役



割だと思えます。

精神科に入院することは病気と上手に付き合っていくスタートラインです。病気と向き合い、皆さんが理想の生活を送るためのお手伝いをさせていただき、「幸せ」と言えるような生活を送っていたければと考えています。

こころの病は決して特別な人だけが罹る病気ではなく、私たちが誰でもなる可能性がある身近な病気です。また、病気の症状だけでなく、生活上の困難さを生じることが多くあります。吉野さんは昨年の異動でこころのリハビリテーション課での勤務は2度目となります。現在は、院内・地域の多職種の方々と連携を図りながら、不登校の学生から長期入院中の患者さんの退院支援など幅広く、患者さんの想いや生活の困りごとに寄り添いながらリハビリテーションを展開しています。担当患者さん・他スタッフの患者さんにも人気の吉野さん、益々の活躍を期待しています。

からと
上司と
ひと



こころのリハビリテーション課課長
たくち あつこ
田口 厚子